

## 【目次】

### 1.アーカイブ No.39

#### 連載「日本労働会館物語」第36回

＜労働運動の曙・労働組合期成会、労働運動の源流・友愛会＞

### 2. 一般財団法人日本労働会館 2025 年度第 3 回 理事会を開催(3 月 24 日)

### 3.お知らせ

ゴールデンウィーク期間の友愛労働歴史館の臨時休館のお知らせ

5 月 2 日(土) ～ 5 月 10 日(日)の間は、友愛労働歴史館は臨時休館とします。

---

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第 184 号よりアーカイブから、可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

### 1. アーカイブ No.39

#### 連載「日本労働会館物語」第36回 2012.04.16 発行の第48号に掲載

＜労働運動の曙・労働組合期成会、労働運動の源流・友愛会＞

本連載は友愛会物語ではありませんので、友愛会に関する詳述は『労働運動 20 年』(鈴木文治著)、『暗い谷間の労働運動』(大河内一男著)、『評伝鈴木文治』(吉田千代著)、『鈴木文治のいる風景』(芳賀清明著)などに任せ、今回は友愛会と労働組合期成会の比較をしてみます。

労働組合期成会は高野房太郎や片山潜らが組織した労働組合を組織するための団体であり、明治 27 年に設立され、鉄工組合や印刷組合などを組織したことで知られ、日本労働運動に曙をもたらしたとされています。

しかし、労働組合期成会はその名称が示すように「期成の会」であり、労働組合そのものではありません。また、明治政府の過酷な弾圧もあり、結成後数年にして解散に追い込まれてしまい、その運動が継承されることはありませんでした。このため現在の連合(日本労働組合総連合会)に繋がる労働運動の源流とされているのが、友愛会です。いわば労働組合期成会は「日本労働運動の曙」であり、友愛会は「日本労働運動の源流」なのです

ところで労働組合期成会と友愛会は類似点がいくつもあります。どちらも①穏健・合法、着実な漸進をめざし労働組合主義に立っていたこと、②アメリカ労働総同盟 AFL の影響が強かったこと、③有力者(社会政策学会メンバーなど)の支援があったこと、④キリスト教徒が運動を支えていたことなどです。また、期成会の活動拠点ともいべき神田青年館(東京 YMCA 会館)と、友愛会誕生の地ユニ

テリアン教会・惟一館を設計したのがジョサイア・コンドル(日本近代建築の父)で、共に明治 27(1884)に建設されている点も興味深いところです。

期成会を組織した高野房太郎は AFL のオルグであり、社会政策学会の高野岩三郎(高野房太郎の弟)らが積極的に支援していました。また、期成会の一方の柱、片山潜はアメリカ帰りのキリスト教社会主義者。後に社会民主党と一緒に結成するクリスチャンの安部磯雄、村井知至、西川光二郎、河上清らとパイプがあり、その縁で彼らは労働組合期成会を支えていました。

一方、友愛会を創立した鈴木文治も後に AFL のゴンパース会長の知遇を得て、友愛会の運営・活動に AFL 流を取り入れていますし、自身がユニテリアン教会のメンバーという立場から安部磯雄らクリスチャンの支援を得ています。また、高野岩三郎をはじめとする多くの社会政策学会メンバーが、評議員として友愛会と鈴木文治を支えていました。

このように労働組合期成会と友愛会は強い類似性を持ち、両者は血の繋がらない親戚みたいなものですが、結成後の運命は大きく分かれています。期成会は結成後、数年にして解散に追い込まれ労働運動史から消えていきますが、友愛会は順調に発展し、総同盟(戦前・戦後)を経て現在の連合へと繋がっていくのです。

## 2. 一般財団法人日本労働会館 2025 年度第 3 回 理事会を開催(3 月 24 日)

3 月 24 日開催された理事会の次第は以下の通り。

- (1) 開会挨拶
- (2) 議長(代表理事)挨拶
- (3) 事業報告
- (4) 2025 年度決算予測
- (5) 議案 1 2026 年度事業計画(案)承認の件  
友愛労働歴史館事業、労使関係研究協会事業、宿泊事業
- 議案 2 2026 年度予算(案)承認の件
- 議案 3 「労使関係研究協会」今後の事業運営について
- 議案 4 (一財)日本労働会館 理事・監事の定年に関する  
規定新設と監事の任期変更について
- 議案 5 新監事の残任期間の取り扱いについて
- 議案 6 一般財団法人 日本労働会館「定款」の見直し(案)について
- (6) 次回以降会議日程について

### 3.お知らせ

ゴールデンウィーク期間の友愛労働歴史館の臨時休館のお知らせ

5月2日(土)～5月10日(日)の間は、友愛労働歴史館は臨時休館とします。

-----「人間の尊厳、進歩と発達のために」-----

発行:友愛労働歴史館

責任者:藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL03-3453-5386

Eメール [yuirodorekishikan@rodokaikan.org](mailto:yuirodorekishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuirodorekishikan.com>

-----惟一館から131年、友愛から113年-----